

目標：イノベーションの推進による実需の創出と安全・安心な地域社会の実現

山積する地域課題

<p><b>本格的な人口減少社会の到来</b> 若年層の県外流出、少子高齢化による生産年齢人口の減少</p>	<p><b>地域経済の停滞</b> 企業の生産活動の足踏み、後継者不足による休廃業、個人消費の低迷</p>
<p><b>南海トラフ巨大地震への備え</b> 想定される南海トラフ巨大地震の発生、社会インフラの老朽化</p>	<p><b>農林水産業の衰退の懸念</b> 生産者の高齢化による担い手不足、温暖化によるかんきつなど農林水産物への影響</p>

イノベーションの推進

- ⇒ 働く場の創出や魅力発信による若者の定着、健康長寿社会の実現
- ⇒ 新産業の創出や既存産業の拡大、新規参入による産業集積、ニーズを先取りした新たな価値の創造
- ⇒ ドローン等を活用した災害情報の迅速な収集・伝達、社会インフラの長寿命化
- ⇒ ICT、ロボット等による作業の省力化・安定化、新品種の開発・販路拡大による所得向上

重視すべき科学技術振興の視点

- ①プロフェッショナル人材の育成・確保
- ②課題解決をビジネスにつなげる仕組みの構築
- ③産業界と一体となった取組の推進

基本方向・推進方策

<p><b>【科学技術を担う人づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県試験研究機関の研究員の更なる資質向上</li> <li>・産業界のニーズに応える人材の育成</li> <li>・情報教育・環境教育の推進</li> <li>・体験学習の機会の充実</li> <li>・産業活動に親しむ場の充実</li> <li>・女性の活躍推進と職場環境の整備</li> </ul>	<p><b>【科学技術振興の基盤づくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・競争的資金の確保</li> <li>・大学と地域との連携強化</li> <li>・知的財産権を活用した地域ブランドの創出・育成</li> <li>・医農連携など分野横断的な取組の推進</li> <li>・大学等発ベンチャー企業の創出</li> <li>・情報通信の利用環境の整備・充実</li> </ul>	<p><b>【科学技術のネットワークづくり】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・研究者と企業等との交流機会の拡充</li> <li>・スゴ技データベース等の活用による情報発信力の強化</li> <li>・研究データベースを活用したマッチング支援</li> <li>・市町との情報共有促進</li> <li>・県内企業の海外進出の支援や国際的な大学間の連携・交流の促進</li> </ul>
--	--	---

戦略プロジェクト

<p><b>イノベーションを創出する人材の育成・確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・情報教育等の充実、研究開発や地域を支える人材育成</li> </ul>	<p><b>地域資源を生かした新産業の育成・振興</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「オール愛媛」の体制構築、役割分担に応じた取組、成長産業への育成・振興</li> </ul>	<p><b>農林水産業の成長産業化</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の育成確保、ブランド化と販路拡大、試験研究による技術開発</li> </ul>	<p><b>産学官による共同研究の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・共同研究を生み出す場の創出、プロジェクトの推進、外部評価の活用</li> </ul>
--	---	--	--

※PDCAサイクルの実施：数値目標を基に愛媛県科学技術振興会議による点検・評価を実施